

講義科目 : 社会保障論 (69・68期生)	単位数 : 2
担当 : 長友 薫輝	学習形態 : 選択科目

### 講義の内容・方法および到達目標

私たちの生活を支えている社会保障の成立過程の理解を土台とし、現状と課題を分かりやすく説明し体系的に社会保障を理解させることを目的とする。

あわせて現行の5つの社会保険のうち、本科目では医療保険、年金保険、雇用保険、労災保険を中心に講義を通じて、日常生活において必要な社会保障の知見を身につけることを目標とする。

### 授業計画

第1回	社会保障、社会福祉の定義
第2回	社会保障の歴史（イギリスの救貧行政）
第3回	社会保障の歴史（ドイツの社会保険の登場）
第4回	資本主義社会と社会保障（イギリス、ドイツの社会保障史）
第5回	資本主義社会と社会保障（フランスの社会保障史）
第6回	年金保険の現状
第7回	年金保険の課題
第8回	社会保障協定
第9回	雇用保険の現状と課題
第10回	労災保険の現状と課題
第11回	働く時のルールを知る（雇用、労働の現状と課題）
第12回	公的医療保険と民間医療保険
第13回	皆保険体制下での医療保険の現状
第14回	医療保険の課題
第15回	これからの社会保障（ベーシックインカムなど新たな展開）

\*受講生の状況等によって進行速度を調整するため、内容を変更することがあります。

### 教材・テキスト・参考文献等

参考資料等は適宜、配付する。

- 参考文献) 『地域の病院は命の砦』自治体研究社、2020年  
『いま地域医療で何が起きているのか』旬報社、2018年  
『新しい国保のしくみと財政』自治体研究社、2017年

### 成績評価方法

- ① 毎回の講義時の小レポート（40%）
  - ② 小テスト（2回程度）（20%）
  - ③ 定期試験（40%）
- 上記の①から③を総合的に評価する。

### その他、学生へのメッセージ

本講義はみなさんにとって聞き慣れない用語を使用しなければなりません、みなさんにとってこの社会で生きる上で必要な知識、知見ばかりです。できるだけわかりやすく講義することに努めたいと思います。